

2013／第97回 日本選手権 Statistics Information

20130608＝No. 15

<女子／走幅跳・その2>

・5位・井村久美子（イムラスリートアカデミー）が現役引退を表明。これまでの日本選手権での成績は以下の通り。

池田久美子	1995	6.11	女走幅跳	4	6.07	(酒田三中)	<5.98-6.07-5.94- x -5.97-6.00>
池田久美子	1996	6.06	女100mH	4H1	14.48	1.6 (日大山形高)	
池田久美子	1996	6.08	女走幅跳	14	5.60	-0.8 (日大山形高)	< 8/5.44- x -5.60>
池田久美子	1997	10.02	女100mH	H2	DNS	-0.1 (仙台育英高)	
池田久美子	1997	10.05	女走幅跳	Q1	DNS	(仙台育英高)	
池田久美子	1998	10.02	女100mH	3H2	14.30	0.9 (仙台育英高)	
池田久美子	1998	10.02	女走幅跳	4	5.92	0.6 (仙台育英高)	<11:5.76/-0.4-5.86/-0.7- x - x -5.86/-0.2-5.92/0.6>
池田久美子	1999	10.03	女走幅跳	17	5.76	4.3 (福島大)	<13:5.56/3.8- x -5.76/4.3>
池田久美子	2000	10.07	女100mH	3	13.72	0.1 (福島大)	
池田久美子	2000	10.06	女100mH	2H4	13.76	0.1 (福島大)	
池田久美子	2000	10.06	女100mH	3S2	13.70	0.8 (福島大)	
池田久美子	2000	10.08	女走幅跳	2	6.37	1.9 (福島大)	< 1:6.37/1.9-6.26/1.4- x -6.28/0.4- x - x >
池田久美子	2001	6.09	女100mH	1	13.38	-0.7 (福島大)	=学生タイ
池田久美子	2001	6.08	女100mH	2H3	13.58	-1.0 (福島大)	
池田久美子	2001	6.10	女走幅跳	2	6.78	0.8 (福島大)	< 7: x -6.78/0.8-6.48/1.0-6.33/0.0-6.49/1.1- x >=日本新
池田久美子	2002	6.07	女100mH	3	13.43	0.2 (福島大)	
池田久美子	2002	6.07	女100mH	1H2	13.60	1.3 (福島大)	
池田久美子	2002	6.08	女走幅跳	2	6.28	-0.9 (福島大)	<10:6.28/-0.9-6.19/0.9- x -6.07/0.8-6.14/3.0- x >
池田久美子	2003	6.06	女100mH	2	13.34	-0.5 (スズキ)	
池田久美子	2003	6.06	女100mH	1H3	13.35	1.4 (スズキ)	
池田久美子	2003	6.07	女走幅跳	1	6.64	0.8 (スズキ)	<19: x -6.41/2.3- x - x -6.46/1.1-6.64/0.8>
池田久美子	2004	6.04	女100mH	1	13.20	1.3 (スズキ)	
池田久美子	2004	6.04	女100mH	1H1	13.09	2.1 (スズキ)	
池田久美子	2004	6.05	女走幅跳	2	6.64	2.3 (スズキ)	< 6:6.39/1.9-6.30/0.5-6.35/2.2-6.63/1.5-6.28/1.3-6.64/2.3>
池田久美子	2005	6.02	国立 女100mH	1	13.47	-0.8 (スズキ)	
池田久美子	2005	6.02	国立 女100mH	1H2	13.38	-0.1 (スズキ)	
池田久美子	2005	6.05	国立 女走幅跳	1	6.69	1.1 (スズキ)	< 9:6.24/1.4-5.02/-0.6-6.60/0.5-6.41/0.8-6.69/1.1-6.61/0.8>
池田久美子	2006	7.02	神戸 女走幅跳	1	6.75	0.5 (スズキ)	<14:6.48/1.4-6.60/0.4- x -6.59/-0.3-6.75/0.5-6.46/0.8>
池田久美子	2007	7.01	長居 女走幅跳	1	6.59	0.0 (スズキ)	<21:6.57/0.0-6.37/0.0-5.89/0.0-6.21/0.0-6.59/0.0-6.38/0.0>
池田久美子	2008	6.27	等々力 女走幅跳	3	6.42	1.0 (スズキ)	<12: x - x -6.38/2.1-6.36/1.3-6.42/1.0-6.37/1.3>
井村久美子	2009	6.28	広島広域 女走幅跳	2	6.46	1.3 (サニーサイド)	<10:6.33/2.1-6.46/1.3-6.38/1.3-6.27/0.9-6.46/1.4-6.31/1.5>
井村久美子	2010	6.06	丸亀 女走幅跳	1	6.31	-1.4 (i DEAR)	< 8:5.99/0.0-6.12/0.5-6.22/0.4-6.17/-0.5-6.31/-1.4-6.25/-0.2>
井村久美子	2011	6.12	熊谷 女走幅跳	1	6.39	1.5 (i DEAR)	< 7:6.31/2.0-6.36/2.7/6.08/0.6-6.05/0.2- x -6.39/1.5>
井村久美子	2012	6.08	長居 女走幅跳	3	6.25	1.5 (i DEAR)	<10: x -6.14/0.0- x -6.06/0.0-6.17/0.0-6.25/1.5>

・上記の通りで、中学3年生の時から日本選手権に出場し、走幅跳で優勝6回、2位5回、3位2回、4位2回、5位1回で入賞回数16回。100mHでは優勝3回、2位1回、3位2回で入賞は計6回。2005年には花岡麻帆と歴史に残る好勝負を演じ、サード記録の差で優勝を手に入れた。

・1981年1月10日生まれで、12歳の時の1993年10月17日に跳んだ走幅跳の5m97(0.0)は、20年目となった現在でも「12歳の世界最高記録」として残っている。蕎麦屋を営む父・実さん(故人)に小学生の時から英才教育で育てられ、「イケクミ」の愛称で親しまれ、長年にわたって活躍してきた。

・日本記録6m86(2006.05.06)、学生記録6m78(2001.10.16)、中学記録6m19(1995.11.19)を現在も保持。全日本中学では1年生の時から3連勝。一般用の100mHの中学最高記録13秒78(向風4.1m!)も持っている。100mHの自己ベスト13秒02(2007.04.29)は、日本記録に0秒02と迫る歴代2位。

・走幅跳では、2000年・世界ジュニアで銅メダル、2001年・ユニバーシアードで銅メダル、2006年・アジア競技大会では金メダルに輝いた。世界選手権には2001年から4大会連続で代表となり、2008年の北京五輪にも出場した。

・公認条件での6m00以上は、今回を含めて140試合(同一競技会の予選も1回とカウント)で日本最多(2位は、梶見咲智子(九電工。今回2位)の113試合)。

・夫の井村俊雄さんは棒高跳の選手で、2002年に6位に入賞している。

2000	10.08	男棒高跳	NH	(明石商高)	< 3:5.10/xxx>	
2001	6.10	男棒高跳	9	5.10	(筑波大)	< 6:5.10/xo, 20/xxx>
2002	6.09	男棒高跳	6	5.20	(筑波大)	< 7:5.10/xxo, 20/xxx>